発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果

(データ集約：

<table>
<thead>
<tr>
<th>採取場所</th>
<th>福島第一・西門</th>
<th>福島第二 MP-1 (参考)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>試料採取日時刻</td>
<td>平成10年1月1日時0分 - 1時間11分</td>
<td>平成10年1月1日時12分 - 1時間11分</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>検出核種</th>
<th>試料濃度</th>
<th>倍率</th>
<th>試料濃度</th>
<th>倍率</th>
<th>試料濃度</th>
<th>倍率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>イセイ</td>
<td>約100</td>
<td></td>
<td>約100</td>
<td></td>
<td>約100</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>イセイ</td>
<td>約200</td>
<td></td>
<td>約200</td>
<td></td>
<td>約200</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

炉規則告示濃度限度
(別表第4第四欄 放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度)

以下の核種については評価中。
1 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
2 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「」と記載。

福島第一・西門における検出限界値は次の通り。
- 振発性のものは約1000 Bq/L
- 粒子状のものは約1000 Bq/L

福島第二 MP-1における検出限界値は次の通り。
- 振発性のものは約1000 Bq/L
- 粒子状のものは約1000 Bq/L
9/21以降、○○のためプロットデータはありません。
福島第二 M.P. - 1 (参考) ダスト核種分析結果

[グラフ]

9/21以降、図のためプロットデータはありません。